

動から地域クラブ活動への移行を進めていきたい。国・県からは、今年度から令和7年度までの3年間を改革、推進期間と位置付けて支援をいただくことになっている。しかしながら、実証モデルとなる学校の選定や競技種目、指導者の確保や保護者の負担など、様々な問題があり、今後設置予定の「大洲市地域部活動推進協議会」で持続可能な地域部活動の在り方について検討していきたい。

問 推進協議会では、どのような方に委員委嘱を考えているのか。

答 多様な意見の集約が必要と考えており、学識経験者をはじめ、学校の代表者、スポーツ団体関係者、PTAの代表者、行政関係等を想定し、現段階で女性4名を含む13名程度を考えている。

問 運動部が対象となっているようだが、文化部での実証はしないのか。

答 今回の実証事業は国のスポーツ庁からの補助を活用しており、まずは運動部から取り組むこととしているが、推進協議会委員には音楽関係者も委嘱し、文化部への取組も併せて検討していきたい。

要望 学校や指導者からの視点だけでなく、子供たちの気持ちも十分に配慮して検討を行っていただきたい。

《令和5年度大洲病院事業会計補正予算》

説明 収益的収入の医業外収益を230万円増額し、約6億2,508万円に増額を行い、事業収益全体を約35億1,640万円に補正し、一方で、収益的支出のうち、医業費用については、職員給与費を約270万円減額して34億576万円とし、事業費全体を34億9,709万円に減額補正を行うものであります。

問 人件費の削減が大きいですが、こういった要因があるのか。

答 この度、常勤の内科医師1名が退職となり、正職員から週3日の非常勤の勤務医として雇用形態が変わったことが主な要因である。

問 医師が退職となれば、その分、医療体制が大変となり、サービス低下につながる恐れはないのか。

答 医師不足分等については、現在愛媛大学医学部のほうから非常勤という形で医師を派遣していただいている。今後の常勤医師の確保については、以前退職された眼科医の確保と合わせ、引き続き医学部

への働きかけを行っていきたい。

産業建設委員会 委員長 弓達 秀樹

《令和5年度大洲市一般会計補正予算》

◆環境保全対策費の工事請負費について

説明 東大洲から徳森に向けて流れる古川で不法投棄が散見されることから、県からの貸与による監視カメラ設置のために必要な支柱などの工事請負に係る費用を計上するもの。

問 監視カメラは何台、どこに設置する予定か。

答 県から貸与を受けるのは1台であり、旧パナソニック跡地西側に通じる市道と古川とが交差する場所に、大洲警察署の方面に向けて設置する予定である。

問 設置することによりどういった効果が見込まれるか。

答 不法投棄に対する抑制効果に加え、録画する映像を確認し、必要であれば指導、悪質な場合は摘発といった対応に活用したい。

問 他にも不法投棄の場所はあると思うが、今後そういう場所にも設置する予定は。

答 県の事業などを活用しながら、効果が見込める場所には設置していきたい。

◆畜産飼料価格高騰対策支援給付金及び畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金について

説明 本市の基幹産業の一つである畜産業について、ウクライナ情勢に伴う穀物価格の上昇等によって、配合飼料価格が高止まりとなり、経営を圧迫している状況にあることから、昨年度に引き続き配合飼料価格安定基金における生産者積立金の個人負担額等に対し支援するもの。

問 本支援給付金、支援事業費補助金の相違について。

答 支援給付金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業。支援事業費補助金は県の事業であるが、それに加えて県の事業に該当しないセーフティネット未加入の零細畜産農家においても、昨年度に引き続き県事業と同様の内容で市が支援するもの。